

工業部会 通信

編集：かながわ経済新聞
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)3021
プリントしてご自由に
お読み下さい。



工業部会TRYプロジェクト

電力中央研を視察 世界有数規模に触れる

工業部会TRYプロジェクト（杉本祥一社長・ハイスホット社長）は7月28日、電力中央研究所・横須賀地区への視察交流会を実施した。電気・原子力工学などの研究分野で、世界有数の規模と性能を誇る同研究所を視察することで、電力をはじめとするエネルギー産業に対する知見を広げた。

国内エネルギー産業は、原子力発電の是非を含むエネルギー政策の議論、電力の小売全面自由化や発送電分離などシナリオ改革が進められてお

り、大きな転換期を迎えている。視察では、同分野で世界でも有数規模を同研究所・横須賀地区を訪れた。当日は20人が参加。今回、TRYプロジェクト視察会に初めて参加する顔ぶれも目立った。

一行は、地区内にある「石炭燃焼特性実証試験装置」「燃料高度利用実証試験棟」を順番に見て回った。なかでも「石炭燃焼特性実証試験装置」は、需給関係などが理由で、今後は多様化が予想される「石炭種」に対応する技術や石炭灰の有効活用を目的とした試験装置。

「燃料高度利用実証試験棟」は、「二酸化炭素(CO2)排出削減をねらいに、バイオマス資源に石炭を混合して使用。燃焼効率を上げるため、バイオマスを炭化することで実用化する試験を行っている。一行は、同研究所の元



石炭燃焼特性実証試験装置

エネルギー産業への知見深め

では、多くの質問が飛んでいた。視察終了後には、江ノ島に移動。工業部会員の湘南デザインと建設部会員の谷津建設が異業種連携により完成にこぎつけた湘南港ヨットハウスを見学。ヨットの帆と湘南の波をイメージして曲線が多用された同施設は、2020年東京五輪のセーリング競技会場としても承認されている。「3D建築」とも呼べるヨットハウスの曲線美に対し、参加者からも驚嘆の声が挙がっていた。なお、TRYプロジェクトでは今後も様々な分野で視察会を企画している。問い合わせは産業振興課042(753)8136まで。



電力中央研究所の視察に参加したメンバー



微粉炭火力に関する研究設備を見学



木質バイオマスの炭化技術を解説

では、多くの質問が飛んでいた。視察終了後には、江ノ島に移動。工業部会員の湘南デザインと建設部会員の谷津建設が異業種連携により完成にこぎつけた湘南港ヨットハウスを見学。ヨットの帆と湘南の波をイメージして曲線が多用された同施設は、2020年東京五輪のセーリング競技会場としても承認されている。「3D建築」とも呼べるヨットハウスの曲線美に対し、参加者からも驚嘆の声が挙がっていた。なお、TRYプロジェクトでは今後も様々な分野で視察会を企画している。問い合わせは産業振興課042(753)8136まで。

職人がいい、施工がいい、住む人がいい。
そこに良いまちが生まれる。

まちづくりの職人 久野新一

創業96年

有限会社
トータルハウジング久野

〒252-0246 神奈川県相模原市中央区水郷田名 2-11-26 TEL 042-762-0096 FAX 042-760-0078
フリーダイヤル 0120-61-0096 URL <http://www.t-h-kuno.co.jp/>

